

授業科目名	保健医療と福祉	単位数	2単位
担当教員名	砂田 淳一郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	特定社会保険労務士・社会福祉士・産業カウンセラー・第1種衛生管理者として、医療・福祉現場での経験をもつ教員が保健医療と福祉について指導する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】 保健医療の動向、医療提供体制、政策と制度、専門職の役割や専門性、多職種連携の必要性などを理解する。			
【到達目標】 本科目においては、下記の3点を到達目標とする。 ①保健医療制度の歴史的変遷について理解する(医療に関する基本的な考え方)。 ②医療提供体制の概要と仕組みについて理解する(医療分野に必要な制度・政策)。 ③保健医療分野の専門職の役割と連携について理解する(連携の中心を担うのはMSW)。			
授業の概要			
従来は、病院の医療ソーシャルワーカー(MSW)が保健医療サービスに対する知識を必要としていたが、現在は地域支援に当たるすべてのソーシャルワーカー(SW)にとって、保健医療の動向、医療提供体制、政策と制度、専門職の役割や専門性、多職種連携の必要性などの理解は欠かせないものとなっている。そこで、本科目では広い視点から保健医療分野の概要について理解する。			
授業計画			
第1回:現代社会と保健医療の動向①-医療の定義、病者の理解、家族の理解、患者の権利 第2回:現代社会と保健医療の動向②-疾病構造の変化、医療施設から在宅医療へ 第3回:現代社会と保険医療の動向③-保健医療における福祉的課題 第4回:保健医療の政策・制度の理解①-保健医療制度の体系、医療法の概要、医療提供施設 第5回:保健医療の政策・制度の理解②-医療費の保障、社会保険制度 第6回:保健医療の政策・制度の理解③-その他の政策・制度 第7回:保健医療に係る倫理の理解①-医療倫理の定義、医療倫理と倫理的課題 等 第8回:保健医療に係る倫理の理解②-自己決定権の尊重、患者の意思決定をめぐる課題 第9回:保健医療領域における専門職の役割と連携①-保健医療領域における専門職 第10回:保健医療領域における専門職の役割と連携②-院内連携 第11回:保健医療領域における専門職の役割と連携③-地域医療連携、地域包括ケアシステム 第12回:保健医療領域における支援の実際①-医療ソーシャルワーカーの概要 第13回:保健医療領域における支援の実際②-保健医療ソーシャルワーク実践の歴史と動向 第14回:保健医療領域における支援の実際③-保健医療領域における支援の実際(事例検討) 第15回:本講義のまとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
最新社会福祉士養成講座5「保健医療と福祉 第2版」中央法規出版 978-4-8243-0156-7			
参考書・参考資料等			
必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			